

# 流山都市計画事業鱒ヶ崎・思井地区一体型特定土地区画整理事業

## 事業計画書の概要（第5回変更）

変更前：**赤字** 変更後：黒字

### 1. 土地区画整理事業の名称、施行区域等

#### (1) 土地区画整理事業の名称

流山都市計画事業鱒ヶ崎・思井地区一体型特定土地区画整理事業

#### (2) 施行者の名称

千葉県流山市

#### (3) 施行地区の位置

本地区は、流山市の南西部に位置しており、流山市役所から南東方向約 1.5 km に位置する東西約 0.3 km、南北約 0.6 km の区域で地区面積は約 11.8ha である。

### 2. 設計の概要

#### (1) 土地区画整理事業の目的

平成元年度に制定された「大都市域における宅地開発及び鉄道整備の一体的推進に関する特別措置法」(宅鉄法)に基づき、本地区を含む常磐新線沿線地域の重点地域については、鉄道整備と宅地開発を一体的に計画・整備し、首都圏北東部地域における大量の住宅地の円滑な供給を行うことが要請されている。

本地区は、JR 武蔵野線及びつくばエクスプレスの南流山駅、流鉄流山線の鱒ヶ崎駅に近接し、鉄道へのアクセシビリティの良さを活かしつつ、既存緑地を保全した良好な居住環境を有する住宅地として整備し、公共施設の整備改善と共に宅地の利用増進を図ることを目的とし、隣接する西平井・鱒ヶ崎地区一体型特定土地区画整理事業と一体的なまちづくりを行うものである。

#### (2) 施行地区内の土地の現況

##### (イ) 地区の性格と発展状況

本地区は宅地、農地、山林で占めているが、JR 武蔵野線及びつくばエクスプレスの南流山駅と流鉄流山線の鱒ヶ崎駅に隣接しているため、交通の利便性から宅地化が進行しており、都市的土地利用への転換と「都心から一番近い森のまち」として既存緑地の保全が望まれている。

##### (ロ) 地区内人口及びその密度

本地区内には、約 300 人が居住しており、人口密度は約 25.4 人/ha となっている。

##### (ハ) 土地利用状況

本地区の土地利用状況は、畑等農地が 26.4%、山林が 18.8% を占めている。一方宅地は 21.7%、その他利用として 8.3%、公共用地は 24.8% となっている。

##### (ニ) 地価 地区の平均単価は約 98,100 円/㎡である。

#### (3) 設計の方針

##### (イ) 土地利用計画

本地区は、「流山市都市基本構想」において位置づけられており、土地利用計画の基本的な方針は、上位計画等を踏まえ、つくばエクスプレス整備に伴い秩序ある市街化を誘導するため、良好な住環境を有する住宅地の形成を目指すものとする。

##### (ロ) 人口計画

本地区の人口計画は、近隣区画整理地区及び広域的な条件を勘案し、計画人口密度 100 人/ha として、計画人口約 1,100 人とする。

##### (ハ) 公園・緑地

公園・緑地は、西平井 3 号公園を含め、地区面積の 3% 以上かつ計画人口 1 人当たり 3 ㎡以上を確保し、公園 1 箇所を配置する。

##### (ニ) 排水施設 調整池

開発に伴う雨水流量増加対策として、調整池 1 箇所を計画する。

(4) 整理施行前後の地積

(イ) 土地の種目別施行前後対照表

種 目	施行前		施行後		備 考
	面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)	
公共用地	2.92	24.7	4.35	36.8	道路、公園等
宅 地	8.49	72.0	7.16	60.7	宅地等
保 留 地			0.29	2.5	
測量増減	0.39	3.3			
計(約)	11.80	100.0	11.80	100.0	

(ロ) 減歩率 公共減歩率： 16.12% 合算減歩率： 19.38%

(5) 保留地の予定地積 2,887.83㎡

3. 事業施行期間、資金計画

令和3年3月31日

(1) 事業施行期間 平成25年2月20日から令和9年3月31日

(2) 資金計画

収 入 (千円)		支 出 (千円)	
国費、市分担金	2,016,200	工事費	4,764,596 4,808,915
保留地処分金 (136,100円/㎡)	392,963 392,952	損失補償費	159,337 124,876
市単独費等	2,710,837 2,710,848	事務費	196,067 186,209
計	5,120,000	計	5,120,000